

# 「向学の熱」

令和6年度 竜北中学校 学校便り 第5号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

## 「向学の熱」 ～全国学力・学習状況調査結果より～

4月に第3学年を対象に行われた「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果概要と各教科の今後の対策についてお知らせします。今年度は、国語・数学の2教科が行われ、両教科共に概ね良好な結果となりました。

なお、この調査は、学力のうち特定の一部分を測定するものであり、生徒の学力全体を評価するものではありません。

【国語】全国平均を上回りました。

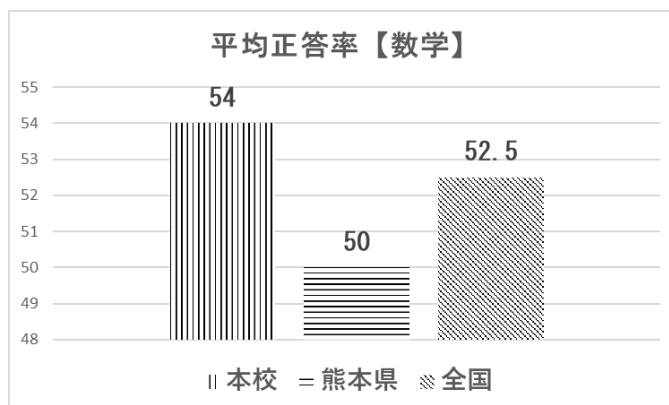
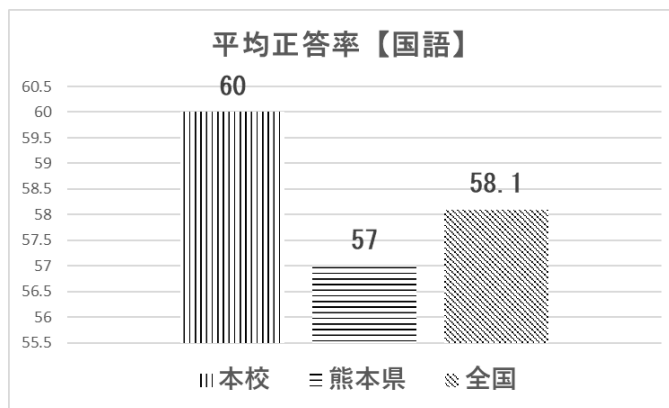
「言語文化に関する事項」「書くこと」については、全国平均を大きく上回りました。他の領域も概ね全国値を上回りました。「読むこと」においては、全国平均をやや下回りました。  
⇒対策：文章を読み通し、あらすじや何が書いてあったか要約する活動を取り入れる。発表や文章を書く際は、根拠を明確にしておくことを意識させる。

【数学】全国平均を上回りました。

「関数」の領域は、全国平均を大きく上回りました。「データの活用・数と式」は全国平均と同程度、「図形」の領域で、全国平均をやや下回りました。  
⇒対策：少人数指導とICT活用による個に応じた指導の充実。教科書以外の発展的な問題に取り組ませる。授業終末に適用問題に取り組み、その時間の理解度を確認する。

【生徒質問紙より】

肯定的な評価が、全国平均に比べ10pt以上回ったものは、「将来の夢や目標を持っている」「健康に過ごすため、学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、生活に役立てている」「先生は、理解していないところを分かるまで教えてくれる」「国語・数学の勉強が好き」がありました。逆に、大きく下回った（課題がある）ものは、「1日あたりの学習時間」「自分と違う意見について考えることは楽しい」「自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫する」などでした。家庭学習の時間確保については例年課題となっているものです。学校では、「竜中ノート」を使って学級担任等が学習時間の確認を行い、学校全体で声かけ等を行っています。学習は、毎日の積み上げが大事であることはいまでもありません。家庭においても、お子さんへの声かけを是非お願いいたします！



## 『私にとっての最高到達点』～少年の主張熊本大会より～

9月23日（月）に熊本県庁において、中学生が日常生活の中で感じたことや考えたことを発表する「第46回少年の主張熊本県大会」が行われました。本来この大会は、8月31日に天草で行われる予定でしたが、台風の影響で延期になっていたものです。今年度は、県内の中学生から1615名の応募があり、代表の13名が出場して行われました。八代地区の代表として本校3年生の元田美希さんが『私にとっての最高到達点』というタイトルで主張を行いました。美希さんは、今年度の体育大会のテーマでもあった『最高到達点』という言葉と、体育大会を終えての気持ちやこれまでの経験・生活とを重ねて感じたこと、更にこれからの目標や生き方について、自分の言葉で堂々と主張を行い、とても立派な発表でした。学校とは違った場所・雰囲気の中での発表は、かなりの緊張があったと思いますが、発表を終えてニッコリ笑う美希さんの姿は、やり終えた充実感と清々しさを感じました。

